

日本工芸のブランド「KORAI」ヨーロッパ初展示 ミラノデザインウィーク2019にて「Sense of Nature」展開催

新作発表：新作アートピース「漣 / Ren」



新作アートピース「漣 / Ren」

株式会社HULS（ハルス）[本社所在地：東京都新宿区、代表取締役：柴田裕介]は、ミラノデザインウィーク期間中の2019年4月8日（月）から14日（日）までの7日間、工芸ブランド「KORAI」のヨーロッパ初となるインスタレーション展示「Sense of Nature」をイタリア・ミラノにて開催いたします。

「KORAI」は、「涼」をコンセプトとした日本の工芸ブランドです。日本では、自然から涼しさを取り入れる文化があり、「涼」という言葉には日本固有の自然観が備わっています。「KORAI」は、工芸品が持つ美しい佇まいや手触りを伝えていくと共に、日本各地の工芸品を通じて、「自然と住まい」の調和を表現し、世界の都市に涼やかな癒しの時間をお届けします。今回の展示「Sense of Nature」では、ミラノ・ブレラ地区の中心地にある老舗ギャラリー「Galleria Seno」にて、暮らしの中で風や光を感じるためのガラス作品「水の器」とともに、2019年の新作アートピース「漣 / Ren」を展示発表いたします。

KORAI 特別展示「Sense of Nature」開催概要

展示名： Sense of Nature / センス オブ ネイチャー

展示日時： 2019年4月8日(月) - 14日(日) 10:00 - 19:00

展示会場： Galleria Seno

住所 /Via Ciovasso,19,20121 Milano MI,Italy [Map](#)

KORAI オフィシャルWEBサイト：<https://koraikogei.com>

KORAI インスタグラム：https://www.instagram.com/korai_official/

新作アートピース「漣 / Ren」

ミラノの展示「Sense of Nature」では、新作となる木製のセンスウェア*「漣 / Ren」を展示発表いたします。「漣 / Ren」は、文化財を中心に、襖・屏風などの仕立て・修復を手がけてきた黒田工房の木工職人 白井浩明氏とのコラボレーションにより生まれた、組子の木製モビールです。障子や襖など、日本独自の建具の要素を取り入れながら、水面に浮かぶ波紋や木洩れ陽を映し出したアートピース。丁寧に組み込まれた木の連なりを室内に飾ることで、木の合間から光がこぼれ落ち、住まいの中で美しい自然の陰影を感じることができます。



木の連なりが美しい影を生み出します。

名称： 「漣 / Ren」

材質： ヒノキ

サイズ： W380mm

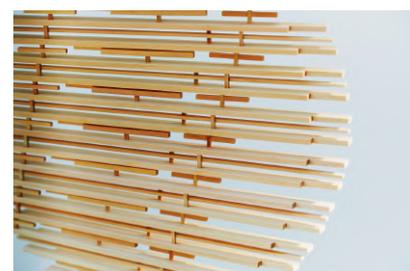
H345mm

D68mm

製造メーカー：黒田工房（京都府）

黒田工房（京都府）

昭和36年の創業より屏風、襖などの組子下地・縁の製造、取り付けや額の仕立てなどを行う建具工房。現在では伝統的な木工技術を承継しつつ、豊かな知識量と確かな技術力が認められ、国宝や重要文化財の修復にも携わるほか、京指物や曲物などの技術を加えた立体的な木工品にも取り組んでいます。



*センスウェアとは

人々の感性に働きかけ、新たな感覚の扉を開けてくれる道具。それらは、「センスウェア」と呼ばれることがあります。「KORAI」が提案する「センスウェア」は、風や水、光の姿を感じる新しい術を表現した工芸品を通じて、移ろう自然に身を任せ、暮らしの中に新たな息を吹き込む、涼しげなアートピースです。



第一弾センスウェア「水の器」
水の反射や揺らぎを楽しみいただけます。

「Sense of Nature」 展示コンセプト

「Sense of Nature」は、「KORAI」のブランドコンセプトである「涼」をもとに、日本で育まれてきた「自然と住まい」の調和をアートピースを中心に表現するインスタレーションです。今回のインスタレーションは、ヨーロッパ初の展示であり、2019年の新作アートピース「漣 / Ren」の発表とともに、自然を取り込む日本の感性を大切にしながらブランド独自の空間表現を追求しました。空間デザインは、国内外でインスタレーションを手掛ける松村和典氏が担当し、新たな日本工芸の可能性を世界に発信していきます。



今回の展示会場となるミラノ プレラ地区の中心にある「Galleria Seno」



DESIGNART TOKYO 2018にて開催した「Sense of Nature」展

「Sense of Nature」 制作クレジット

プロデュース 株式会社HULS
プロダクトデザイン 辰野しずか
フォトグラファー 大矢真梨子（自然）
須田卓馬（庭園）
小川真輝（プロダクト）
グラフィックデザイン 関田浩平
空間デザイン 松村和典
ファシリテーター 谷口西欧

KORAIについて

「KORAI」は、「涼」をコンセプトとして、日本各地のさまざまな工芸メーカーと共に、日本文化の持つ「内と外」「自然と住まい」の調和を表現。世界へ向け、工芸品を通じて涼やかな癒しの時間を提案する工芸ブランドです。日本には、家屋に備わる縁側のように、自然から「涼」を取り入れる文化があり、それは、慌ただしい都市で暮らす人々の心と体に安らぎをもたらすきっかけにもなります。「KORAI」は、そんな「涼」をコンセプトとして、世界の都市の暮らしに、涼やかな癒しの時間をお届けします。

「KORAI」のプロダクトは、世界の都市で忙しく働く人々に涼をもたらす暮らしのアイテム「Living Collection /リビングコレクション」と、「Senseware / センスウェア」で構成されています。



関係者プロフィール

辰野 しずか | プロダクトデザイン

1983年生まれ。クリエイティブディレクター/デザイナー。英国のキングストン大学プロダクト&家具科を首席で卒業。デザイン事務所を経て、2011年に独立。2017年より株式会社Shizuka Tatsuno Studioを設立。家具、生活用品、ファッション小物のプロダクトデザインを中心に、企画からディレクション、付随するグラフィックデザインなど幅広く活動。2016年 ELLE DECOR日本版「Young Japanese Design Talents」賞など受賞多数。



松村 和典 | 空間デザイン

1982年生まれ。多摩美術大学環境デザイン学科・大学院修了後、同学科助手を経て2012年に独立。店舗・ポップアップストア・展覧会等の空間デザインを行う。2012年～2014年の間、スキンケアブランドAesopの日本におけるビジュアルマーチャンダイジング業務をサポート後様々な店舗のVMDの仕事も行う。空間の特性とプロジェクトの内容を密接に関連づけながら双方の魅力を最大限に引き出すことを得意としている。



株式会社HULSについて

株式会社 HULS(ハルス)は、東京とシンガポールに拠点を構える日本工芸のためのグローバルビジネスに特化したクリエイティブ会社です。「Roots & Touch」というコンセプトのもと、商品企画・貿易業務・KOGEI STANDARD*の運営などを通じて、良質な日本の工芸品を海外に紹介しています。また、シンガポールでは「HULS Gallery Singapore」を運営し、様々な工芸品の展示・販売を行っています。

*KOGEI STANDARD：日本工芸を世界に発信する、日・英のバイリンガル対応のオンラインメディア。陶芸、漆芸、染織、木工、ガラスなどさまざまな日本工芸品を紹介しています。

<https://www.kogeistandard.com/>



会社概要

株式会社HULS (ハルス)

代表者 代表取締役 柴田 裕介

所在地 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-2-15 ヒルコート東新宿ビル2F

事業所 東京都港区赤坂6-4-10 赤坂ZENビル2階

設立 2013 年

URL <https://www.huls.co.jp/>

製品・販売に関するお問合せ

<日本>

株式会社HULS (ハルス) 東京営業所

東京都港区赤坂6-4-10 赤坂ZENビル 2F

TEL：03-6280-8387 FAX：03-6280-8397

E-MAIL：info@huls.co.jp

取材に関するお問合せ

HULS / KORAI PR SUPPORT HOW INC.

TEL：03-5414-6405 FAX：03-5414-6406

E-MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp